

2年前の答弁をすっかり信用し、何度もチェックするのはやりすぎだからと遠慮していた自分が…甘かった！

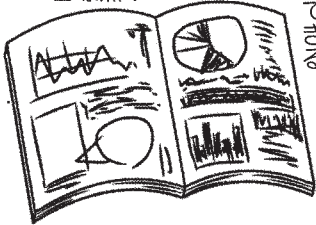
大切なことは
今回も **ハクシよ!!**

市内に数多ある公共施設をマネシメントするには今後、欠かせない資料だ



H21年の9月議会で「公共施設白書の作成」を提案した

答弁では「2年間」かけて庁内で行いたいとハッキリ明言していたのだが…



公共サービスが最適化されているか一目瞭然！

この白書では施設の利用者数・稼働率などを把握できる

外部委託しちゃうのもいいかななんて…



いや〜まだ基礎データしかななくて…それに関係部署間の調整とかも…

しかも質問数日前に答弁が差替えに！

2年間一んもしてなかった!?

もはやお役所仕事以下っ！



それがマトモな答弁か!! 内容もお粗末すぎる!

けいじの政治

Vol.21

山中 啓之 (やまなか けいじ)

S54. 5. 28生まれ。ニミヶ丘幼稚園、横須賀小、小金中、早大学院、早大(政経)卒。サラリーマン生活を経て、松下政経塾へ。32歳。「市民力」幹事長 ■特徴：左利き・A型・ふたご座 ■趣味：読書、登山、オカリナ

無料メルマガ!



【発行元】

松戸市新松戸 1-138-101 TEL&FAX 047 (348) 3933 Mail keiji@mskj.or.jp

白書って言うだけに、ここまで 'マッシロ' !?

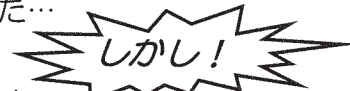
「公共施設白書」の今

時は遡ること今から2年少々、H21年9月議会。一般質問で「公共施設白書」の作成を提案しました。

この白書は、従来の行政の統計書にみられる施設の所在地・面積・電話番号といったありきたりの基礎データではなく、その施設の利用人数や回転率といった流動的なデータを網羅し、利用者目線に立ってより深く施設の実態を知るものです。

例えば、同一施設で土日と平日の利用者の差を比べて、平日の利用者が極端に少なければ、平日にかける人員を少なくして経費をカットすることもできます。このように「サービスの最適化」が行われているかどうかの分析も可能にします。

答弁では「2年間」で、できれば「もう少し短縮し」て取り組む考えを明言していました…



…2年以上経っても、音沙汰なし。心配して2年(と数か月)ぶりに質問してみたら、なんと、全くと言っていいほど着手されていなかった!

議会の答弁は、こんなに軽いものだったのだろうか?

詳しくは議会報告会で!

◆入場無料♪途中入退場もご自由に!◆

山中けいじの議会報告会のお知らせ

4年間で全ての市民センターへ伺います! ⇒現在、達成率約58%!引き続き、この調子で鋭意頑張ります!

- 1月28日(土) 9:30~11:30 @馬橋市民センター
 - 2月11日(土) 15:30~17:30 @古ヶ崎市民センター
 - 2月12日(日) 18:30~20:30 @新松戸市民センター
- ※12日は15:30~明市民センターで市民力報告会もあります!



☆日頃の参加者の皆様のご協力(机や椅子の整理など)に感謝申し上げます m () m

「はみ出しメモ」私は今後も一切媚びません、市長にも、議員にも、有権者にも。それが、結果的には市民のためになると確信しているからです（啓之）



やまなか・けいじ
1979年生まれ。早稲田大政治経済学部卒。サラリーマン、松下政経塾（第26期生）を経て06年松戸市議。現在2期目。

千葉県
松戸市議
山中啓之
議
員
提
案

世襲や政党・組織出身などのしがらみのある議員ばかりでなく、サラリーマン出身など、普通の人の議員も徐々に増えてきました。しかし、それで本当に政治がよくなってきたのでしょうか。
国も地方も毎日のように政治家の不祥事が取り上げられ、有権者は「まだマシだから」「悪いことをしなそうだから」と消極的な理由で、サラリーマンや若手、女性の候補に投票しているのではと勘繰りたくなる時があります。
私自身が2期目の活動で自戒を込めて痛感しているのは、これか

政治を変えたいのなら政治家を変える 政治家を変えたいのなら有権者が変わるべきだ

らの政治家はいわゆる市民目線だけではなく、プロとしての政策立案能力や議論のできる力を蓄える必要があるということです。

地盤・看板・カバンもない議員から「政策」を除いたら何も残りません。必然的に政策研究は一生懸命やります。先日の図書館行政

についての一般質問では、図書館の充実を訴えるため、現在の図書館サービスが非常に低いことを千葉県内の（市だけでなく町も含めた）全38自治体のサービス指標を

ランキングにして示しました。これまで市は「サービスが低いのは分かっているが、お金がない」という一方的な答弁に終始し、何

がどれほど悪いのかという具体的な内容はあいまいにしています。私の調査で、松戸市のサービスが全ての指標で平均以下のレベルだったことが判明しました。更

に財政力指数は同規模自治体では上位に入っており、市にお金がないのではなく、お金の配分が悪いことが分かりました。市長からも前向きな答弁を引き出せました。

議員個人の自助努力が必要なのは当然ですが、それを待っているだけでなく、市民も議員の質を上げるのが可能です。

例えば、議会での質問を傍聴して、選挙前の公約を守っているか、質問項目に対する調査は十分かなどを独自の視点でチェックし、議員の「通信簿」をつける市民団体

があります。データの裏付けがない発言や、過去の議事録を見れば書いてあるようなことを質問する議員は低く評価されます。私の場合は市にそのような団体がなかったため、自分で通信簿をつけてインターネットで公開しました。厳

しく自己採点したら○より△が多かったのですが、効果的な内省作業になりました。

数年前に「議員力検定」が誕生しました。本来、議員は議会の仕組みや必要最低限の法の知識がなくてはいけません。それを測る一つのツールとしても有意義なのはもちろんですが、この検定は更に「政治家を見る眼があるか」と市民にも問いかけている気がします。有権者のレベルが上がれば、選ばれる議員のレベルも必然的に上がるからです。市民が税金を使って運営している議会と行政。この議会制民主主義の仕組みを知らなければ、困った時に誰にどうやって相談すればいいか分かりません。楽しみながら学ぶことのできるこのような検定も、今後民主主義の成熟の一助となるでしょう。大切なのは市民が行動することです。

この度、山中けいじ政治研究会（けいじの政治塾）を開設します（4月予定）

【第1期塾生を募集します！】

「普段よく分からない政治の現場を知りたい！」「もっと松戸市について知りたい！」という市民の声は年々高まっています。

そこで、このたび、山中けいじの活動を通じて政治に触れてもらいながら、松戸市の政治・行政などを広く理解し、松戸市をよりよくするための‘塾’を設立します。

現職の政治家・山中啓之の活動・考え方を通じて地方自治をより深く理解し、また、塾生が率先して自習自得をして研鑽を深め、生の現場に触れる事で、今までにない、様々な事を体験します。理論だけでなく、体験や実践も重視し、一緒に街づくりに関わる事が出来ます。

■資格

きちんと参加できる方ならであれば誰でもOK！（面談あり）

■活動日

2012年4月から、月1回（年12回程度）を予定。

※原則、金曜の19時～松戸駅周辺を予定していますが、参加者に応じ柔軟に対応します

■基本的な活動内容

月1回程度の講演（主として山中啓之が行う）及び勉強会

また、議会傍聴、山中啓之の政治活動への参加、その他オプション多数。

※参加者の積極性に応じて随時、増加します。

■活動費用

入会金 500円

年会費 10,000円（大学生は5,000円、高校生以下無料）

※会費は後援会費に入金し、主に会場使用料等に充当します

☆入塾希望の方及びお問合せはこちらまで ⇒ 090-4729-9044

事務局：渡邊

参加者の活動によって成り立つ本塾は、
まさに私・山中啓之の目指す市民参加そのものです。
知識・経験等は不問。志のみ持参して下さい！

